

平成 29 年度事業報告書

NPO 法人あつとオーティズム

1. 活動の成果

NPO 法人あつとオーティズムは、自閉症を含む発達障がいの子どもたちとその家族が直面する困難への支援、および自閉症に対する社会理解促進のための啓発活動を行っております。

自閉症の子どもたちが社会に適応するための療育および適切な学習を行うための相談事業、困窮する保護者を救済するため子どもたちの特性理解を学ぶ場の提供、立ち後れている社会理解を促進するため、

療育事業として、発達障がいを持つ子どもを対象とした学習支援、ソーシャルスキルトレーニングのグループレッスンを行いました。

啓発活動として、世界自閉症啓発デーの前後にライト・ イット・ アップ・ ブルー (以下 LIUB) キャンペーンを行いました。

相談事業として、これまで通り個別の無料相談、療育相談を受けました。

交流事業として、障がいのある子どもたちが無理なく映画を楽しむ機会を提供して下さる OS シネマ様から依頼を受け、障がいのある子どもと保護者へ映画鑑賞会の案内を行いました。

(1)療育事業について

学習支援

物の見え方や聞こえ方に偏りを持つ子どもは、学校での授業についていけない、学年相応の学習につまずきを抱えるなどの困難を生じております。これらの子どもたちへそれぞれの特性に合った学習支援を行っております。

グループレッスン

学校生活など生活面における困りごとは、社会生活のスキル、コミュニケーション力の低さから来るもので、これらの力に弱い子どもたちのため、学校現場、生活場面などを想定した社会的スキルアップのためのグループレッスンを行っております。本年度よりスタートした「ことばの教室」は、多くの発達障害の子どもにとって理解し難い、曖昧な表現や時間の流れなどのレクチャーに特化したグループレッスンで、大変好評を頂き、増設の希望を多数頂いております。

参加した保護者の方からは、「子どもに合った学習法が見つかり、少しずつでも学校の授業についていけるようになった。」「学校生活での困りごとを対処していく方法が身についていっているように思う。」等の感想をいただいております。

(2)啓発活動について

「ライト・ イット・ アップ・ ブルー Japan2018」 日本各地への普及

世界中がつながりオーティズム（自閉症）の啓発を行う LIUB。当法人は今年度も LIUB 日本大使としてオーティズム及び発達障がいへの理解促進のため、日本国内で LIUB 実行委員会を立ち上げ、自閉症関連機関、一般企業、一般市民の皆様を含む全ての人々への呼びかけを目標に LIUB Japan の開催を実行いたしました。

LIUB キャンペーンは昨年を上回る 170 カ国以上がつながり開催されました。日本では各地主催団体や企業によるライトアップやイベントが多数行われ、ライトアップの数は北海道から沖縄まで 214 ヶ所以上におよびました。メディアでもより一層の関心を寄せていただき自閉症を含む発達障がいへの理解促進の一助になったのではないかと思います。

LIUB Japan 実行委員会は毎年、日本国内の LIUB キャンペーン情報を NY 本部（Autism Speaks）へ報告し、共有しています。日本での LIUB キャンペーンの様子は海外で大きく評価していただきグローバルな啓発にも貢献しております。

「ライト・ イット・ アップ・ ブルー Japan 2018」の様子（別紙 1）

「地元芦屋、神戸での LIUB イベント」開催

[芦屋イベント]

LIUB 前の 3 月 29 日には芦屋イベントとして、芦屋ピザ屋リベルテ様にご協力いただき、自閉症や発達障がいのある子どもたちによるピザ作りが行われました。このピザ作りを通して、今までピザを食べられなかった子どもがピザを食べられるようになるなど、大きな成果がありました。子どもたちが新しいことにチャレンジする機会を作ることの大切さを改めて感じました。

[神戸イベント]

3 月 24 日には神戸の三宮センター街において LIUB チラシ・啓発リーフレット・風船・啓発バッジの配布を行いました。

4 月 2 日 18 時からオープニングセレモニー、18 時 45 分からはファンタジー号での神戸ナイトクルーズを開催しました。

日本での LIUB は今年で 8 回目を迎えました。

セレモニーはチクたんのダンスで始まり、竹田契一先生、久元喜造神戸市長にご挨拶いただきました。そしてオーティズム当事者を含む有志によるバイオリンの演奏を楽しみました。バルーンリリースではブルーの風船がそれぞれの想いを込めて空に舞い上がりました。

メインイベントのファンタジー号でのナイトクルーズは早駒運輸様にご協力いただき、ご応募いただいた当事者とそのご家族約 25 組をお招きし、ブルーにライトアップされた神戸港周辺の景色を楽しむことができました。さらにカフェオリンピア様のご協力のもと、お買い物体験もできました。普段船に乗ること、お買い物をするをためらってしまう方にも安心して体験していただけるように、乗船スケジュールやお買物の仕方などを目で見え理解出来るような資料をお配りしました。

子どもたちに人気があるしんごお兄さんやオーティズム当事者のシンガーTAKERUさんのライブで楽しむことができました。

その他、3月31日、午後1時からと4時から、阪急百貨店うめだ本店9階祝祭広場にてチャリティートークイベントに出演いたしました。

LIUBの開催により、多くの自治体、企業、マスコミ、一般市民が自閉症への関心を高め、今後はこの関心を自閉症に対するより一層の理解へと繋げていきたいと思っております。

(3)相談事業について

私たちが実施している無料の相談室では、子供の発達に不安を持つ保護者らの相談を受け、個々の状況に応じた専門家からのアドバイスを行い、また、当事者の子供に対しては専門家らが面談したのち、適切な療育を受けることのできる場所を紹介するなど、情報提供を行いました。また、当法人のメンバーらが母親としての目線から、小さなお子様を育てている相談者へ経験談や情報の提供を行いました。

保護者からは、「追い詰められていた子育てに、適切なヒントをもらい、気持ちが少し楽になった。」、「進学に関する情報をもらうことができ、進路を決めることに役立った。」などフィードバックをいただいております。

(4)交流事業について

OS株式会社（共催：阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト）様から「誰もが映画を楽しみ、感動を分かち合える社会の実現を目指した映画上映会」にご招待いただき、障がいのある人が安心して映画鑑賞できる機会をいただきました。当法人からも希望者の親子が参加させていただき、「子どもがいつも楽しみにしています。」との感想をいただきました。

2. 特定非営利活動にかかる事業（委託事業）

(1)療育事業

学習支援

日時：平成29年10月～年間約72回（午後、夜間）

場所：木口記念会館等

参加者：延べ約396名 相談員：松浦結、川村朋子、他

参加料：学習教材費等実費

グループレッスン

日時：平成29年10月～年間約12回（土曜日午前中）

場所：木口記念会館等

参加者：延べ約120名 相談員：松浦結、川村朋子、他

参加料：学習教材費等実費

来年度も引き続き、療育的支援を行っていきたいと思っております。

(2)自閉症・発達障がいについての啓発事業

「ライト・ イット・ アップ・ ブルー Japan 2018」 主催

日時：平成 30 年 4 月 2 日 日没後

場所：全国各地 参加者：不特定多数 入場料：無料

参加施設：ライトアップ協力 (別紙 2)

後援：内閣府、外務省、厚生労働省、文部科学省、国土交通省、兵庫県、神戸市、芦屋市、兵庫県社会福祉協議会、一般社団法人日本自閉症協会、一般社団法人日本発達障害ネットワーク(JDD)、特定非営利活動法人アスペ・エルデの会

運営費用：協賛 (株式会社神鋼不動産、株式会社布引コアコアコーポレーション、早駒運輸株式会社神戸シーバス、AIG ジャパングループ、社会福祉法人光朔会オリンピック他)、事業収入等

「ライト・ イット・ アップ・ ブルー Japan 2018」 関連イベント

「三宮センター街 LIUB チラシ配布」

日時：平成 30 年 3 月 24 日 13 時～14 時

場所：三宮センター街

参加者：15 名 スタッフ：5 名 ボランティア：10 名

協力：KOBE 三宮・ひと街創り協議会 ザ・ファースト、アメリカンホーム医療・損害保険株式会社、神戸電子専門学校

「芦屋イベント」

日時：平成 30 年 3 月 29 日 13 時半～16 時半

場所：木口記念会館

参加者：約 40 名 スタッフ：7 名 ボランティア 11 名 司会ボランティア 1 名

協力：芦屋ピザ屋リベルテ・神戸電子専門学校

「H2O サンタイベント (チャリティートーク) 参加」

日時：平成 30 年 3 月 31 日 13 時～ 16 時～

場所：阪急百貨店うめだ本店 9 階祝祭広場 参加者： スタッフ：3 名

協力：一般財団法人 H2O サンタ

「LIUB2018 神戸イベント」

[セレモニー]

日時：平成 30 年 4 月 2 日 18 時～18 時 30 分

場所：かもめりあ前、ファンタジー号棧橋

参加者：約 200 名

来賓：久元喜造神戸市長、竹田契一先生

[ナイトクルーズ]

日時：平成 30 年 4 月 2 日 18 時 45 分～20 時 15 分

場所：ファンタジー号

参加者：約 180 名 スタッフ：15 名 ボランティア約 50 名

来賓 13 名

協力：早駒運輸

来年度もより一層の参加者の増加と全都道府県の参加を目指して活動していきたいと思いま
す。

(3)発達相談及び情報提供事業

発達相談室

日時：平成 29 年 10 月～ 随時 場所：木口記念会館他

参加者：延べ 8 名 相談員：金出映子、松浦結 参加料：無料

母の相談室

日時：平成 29 年 10 月～ 随時 場所：木口記念会館

参加者：延べ 5 名 相談員：佐伯比呂美・佐伯八重子 参加料：無料

いつでも気軽に悩みを相談したり、先輩の育児経験者らのアドバイスを聞くことのできる相
談室として、また必要な情報をお伝えできる講演会や進路交流会を開催していきたいと考えてお
ります。

(4)余暇活動及び文化、芸術活動を推し進める交流事業

映画上映会

日時：平成 29 年 11 月 12 日 (日) 9:30～ (90 分)

場所：OS シネマズ 神戸ハーバーランド 参加者：親子 5 組

主催：OS シネマズ 共催：阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト

参加料：無料 映画：「怪盗グルーのミニオン大脱走」

日時：平成 30 年 2 月 24 日 (日) 9:30～ (101 分)

場所：OS シネマズ 神戸ハーバーランド 参加者：親子 6 組

主催：OS シネマズ 共催：阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト

参加料：無料 映画：「映画ドラえもん のび太の南極カチコチ大冒険」

今後も利用者の皆様が行きやすいイベントへのご招待、交流などを行ってきたいと思います。

3 . 事業実施体制

- (1)会合に関する事項 定例会、打ち合わせ会：年間約 68 回
第 7 期通常総会：平成 29 年 11 月 17 日 16 名出席
理事会：平成 29 年 11 月 17 日 4 名出席
- (2)事務局体制 ①事務局長：佐伯比呂美 ②事務局スタッフ：5 名
- (3)会員 ①個人正会員 18 名・団体正会員 1 団体
②個人賛助会員 4 名
- (4)ボランティア 延べ約 60 名 活動時間年間数約 240 時間
- (5)連携グループ 一般社団法人日本発達障害ネットワーク (JDD) エリア 会員
KOBE 三宮・ひと街創り協議会 ザ・ファースト 会員

(6)受入評価益

受け入れた役務、サービスについては、活動計算書に計上し、その詳細を別紙にて記載しました。多くの皆様にご支援いただき、本年度の事業が行われました。

(資料 A) ボランティアによる役務の提供

(資料 B) 施設の提供等物的サービスの受入

H29年度 受入証証益 覧

(資料A)

ボランティアによる役務の提供

NPO法人あっとホーテイズム

日付	事業名	氏名	時間	金額	算出根拠
H30.4~9	管理部門 会士・庶務	事務ボランティア：11日 伴野 誠	10:00～16:00(5h) (内1h休憩)	844円×5h×11日＝ 46,420円	兵庫労働局による最低賃金
H30.3.24	啓発事業 三宮センター街 LUBチラシ配布	ボランティア：10名 アメリカンホーム医療・損害保険株式会社 社、神戸電子専門学校	13:00～14:00(1h)	844円×1h×10名＝ 8,440円	兵庫労働局による最低賃金
H30.3.29	啓発事業 LUB 芦屋イベント	ボランティア：11名 協賛神戸電子専門学校也	13:30～16:30(3h)	844円×3h×11名＝ 27,852円	兵庫労働局による最低賃金
H30.3.29	啓発事業 LUB 芦屋イベント	司会：1名 上木敦子 (株)オフィスマーマイド 神戸中央区/播通3-1-15	13:30～16:30	30,000円	(株)オフィスマーマイドが通常 に司会者を派遣した場合の利 用料金による。
H30.4.2	啓発事業 LUB神戸イベント	着ぐるみ(チクたん)演者派遣：5名 キャチャ総研 大阪府淀川区西中島1-2-15	17:00～18:30	15,000円	キャチャ総研が通常で演者を派 遣した場合の利用料金によ る。
H30.4.2	啓発事業 LUB神戸イベント	司会：1名 谷口淳子 (株)オフィスマーマイド 神戸中央区/播通3-1-15	18:00～20:15	30,000円	(株)オフィスマーマイドが通常 に司会者を派遣した場合の利 用料金による。
H30.4.2	啓発事業 LUB神戸イベント	ボランティア：18名 (神戸不動産 神戸 電子専門学校 芦屋学園高等学校 バイオリン有志：11名 歌・演奏：松田健 藤原直実	16:15～20:15(4h)	844円×4h×31名＝ 104,656円	兵庫労働局による最低賃金
H30.4.2	啓発事業 LUB神戸イベント	子供向歌のショー：1名 しんご況さん	18:00～20:15	40,000円	しんご況さんの通常出演 した場合の利用料金による。
	合計			302,368円	

(資料B)

施設の提供等の物的サービスの受入れ

日付	事業名	サービス提供内容	詳細	金額	算出根拠
H29.10 H30.9	管理部門 打合せ	本口記念館会議室の無償利用 (会議) 1回	午前・午後	午前・午後3,500円 ×1回=3,500円	本口記念館が一般公表し ている利用料金表による。
H29.10 H30.9	療育事業 学習支援	本口記念館会議室の無償利用 72回 (午後・夜間) (会議)	午後・夜間	午後・夜間4,000円 ×72回 =288,000円 午前1500×12回= 18,000円 小計306,000円	本口記念館が一般公表し ている利用料金表による。
H29.10 H30.9	グループレッスン	12回 (午前)	午前	午前1,500円×6回 =9,000円 午後2,000円 ×1回=2,000円 小計11,000円	本口記念館が一般公表し ている利用料金表による。
H30.3.29	相談事業 発着相談室8回 母の相談室1回	本口記念館会議室の無償利用 (会議) 6回 本口記念館会議室の無償利用 (会議) 午後1回 本口記念館会議室の無償利用 (多目的ホール) 1回	午前6回 午後1回 終日	終日 14,000円 ×1回=14,000円	本口記念館が一般公表し ている利用料金表による。
H30.4.2	啓発事業 LUB Japan 2018	早駒運輸(株)神戸キャンパス クルージング費用	追加分45分	75,000円	正料金 15000円/1時間半 のうち、45分の無償延長 7500円と算出。
H30.4.2	啓発事業 LUB Japan 2018	31施設 (神戸ポートタワー、明石海峡大 橋、兵庫大仏 (能登寺)、明石市立文科 学館、錦山 しあわせの村 他) 各施設ライトアップ費用	あつとオーテイズム 依頼施設	100,000円×31施設 =3,100,000円	一般社団法人神戸港振興協会 に問い合わせた電飾プログラ ム作成にかかる費用による。
H30.4.2	啓発事業 LUB Japan 2018	株プロンティエアブラス 芦屋市東芦屋町1-16-402 チラシ等デザイン費用	チラシ2種 3つ折り リーフレット1ペー ジ、webバナー	120,000円	株プロンティエアブラスに問い 合わせた通常にかかる費用に よる。
	合計			3,629,500円	

法人名： NPO法人あっとオーティズム

活動計算書

平成29年10月1日から 平成30年9月30日まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	75,000		
賛助会員受取会費	13,000	88,000	
2. 受取寄付金			
寄付金	348,084		
助成金	200,000		
協賛金	370,000		
ボランティア受入評価益	302,368		
施設等受入評価益	3,629,500	4,849,952	
3. 事業収益			
自閉症・発達障がいについての啓発事業収益	298,960	298,960	
4. その他収益			
受取利息	14		
雑収入	24,471	24,485	
経常収益計			5,261,397
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
ボランティア評価費用	255,948		
人件費計	255,948		
(2)その他経費			
旅費交通費	109,020		
通信運搬費	125,864		
印刷費	151,090		
啓発グッズ費	369,084		
会議費	93,285		
作業費	49,448		
イベント設営費	240,300		
事務消耗品費	92,247		
雑費(保険、振込手数料等)	71,664		
施設等評価費用	3,626,000		
その他経費計	4,928,002		
事業費計		5,183,950	
2. 管理費			
(1)人件費			
ボランティア評価費用	46,420		
人件費計	46,420		
(2)その他経費			
会費	41,000		
ホームページ管理費	43,200		
施設等評価費用	3,500		
雑費	1,512		
その他経費計	89,212		
管理費計		135,632	
経常費用計			5,319,582
当期経常増減額			△ 58,185
III 経常外収益			
1. 過年度損益修正益		0	
経常外収益計			0
III 経常外費用			
1. 過年度損益修正損		0	
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			△ 58,185
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			△ 58,185
前期繰越正味財産額			1,662,071
次期繰越正味財産額			1,603,886

法人名： NPO法人あっとオーティズム

貸借対照表

平成30年 9月 30日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,603,886		
流動資産合計		1,603,886	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産	0		
(2)無形固定資産	0		
(3)投資その他の資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計			1,603,886
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受助成金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,662,071	
当期正味財産増減額		△ 58,185	
正味財産合計			1,603,886

計算書類の注記

[NPO法人あっとオーティズム]

1 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2011年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

- (1) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
施設の提供等の物的サービスを受入れは、活動計算書に計上しています。また計上額の算定方法は、「3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」として注記しています。詳細は事業報告書に記載しています。
- (2) ボランティアによる役務の提供
ボランティアによる役務の提供は、活動計算書に計上しています。また計上額の算定方法は、「4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しています。詳細は事業報告書に記載しています。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

科目	療育事業	啓発事業	相談事業	交流事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益							
1. 受取会費	0	0	0	0	0	88,000	88,000
2. 受取寄付金	306,000	4,483,032	11,000	0	4,800,032	49,920	4,849,952
3. 事業収入	0	298,960	0	0	298,960	0	298,960
4. その他収益	0	0	0	0	0	24,485	24,485
経常収益計	306,000	4,781,992	11,000	0	5,098,992	162,405	5,261,397
II 経常費用							
(1) 人件費							
ボランティア評価費用	0	255,948	0	0	255,948	46,420	302,368
人件費計	0	255,948	0	0	255,948	46,420	302,368
(2) その他経費							
旅費交通費	0	109,020	0	0	109,020	0	109,020
通信運搬費	0	125,864	0	0	125,864	0	125,864
印刷費	0	151,090	0	0	151,090	0	151,090
啓発グッズ費	0	369,084	0	0	369,084	0	369,084
会議費	0	93,285	0	0	93,285	0	93,285
作業費	0	49,448	0	0	49,448	0	49,448
イベント設営費	0	240,300	0	0	240,300	0	240,300
事務消耗品費	0	92,247	0	0	92,247	0	92,247
会費	0	0	0	0	0	41,000	41,000
ホームページ管理費	0	0	0	0	0	43,200	43,200
雑費	0	71,664	0	0	71,664	1,512	73,176
施設等評価費用	306,000	3,309,000	11,000	0	3,626,000	3,500	3,629,500
その他経費計	306,000	4,611,002	11,000	0	4,928,002	89,212	5,017,214
経常費用計	306,000	4,866,950	11,000	0	5,183,950	135,632	5,319,582
当期経常増減額	0	△ 84,958	0	0	△ 84,958	26,773	△ 58,185

3 施設の提供等の物的サービスの受入れの内訳

施設の提供等の物的サービスの受入れの状況は以下の通りです。

(単位:円)

内容	金額	算定方法
木口記念会館会議室の無償利用(管理)	3,500	木口記念会館が一般に公表している利用料金表によって算定しています。
木口記念会館会議室の無償利用(療育)	306,000	木口記念会館が一般に公表している利用料金表によって算定しています。
木口記念会館会議室の無償利用(相談)	11,000	木口記念会館が一般に公表している利用料金表によって算定しています。
木口記念会館会議室の無償利用(啓発)	14,000	木口記念会館が一般に公表している利用料金表によって算定しています。
各施設ライトアップ費用(啓発)	3,100,000	(社)神戸港振興協会に問い合わせた利用料金によって算定しています。
クルージング費用(啓発)	75,000	早駒運輸(株)に問い合わせた利用料金によって算定しています。
チラシ等デザイン費用(啓発)	120,000	一般的なポスターデザインに係る概算費用による。

4 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の状況は以下の通りです。

(単位:円)

内容	金額	算定方法
管理部門ボランティア	46,420	単価は兵庫労働局の最低賃金によっています。
啓発事業ボランティア	140,948	単価は兵庫労働局の最低賃金によっています。
啓発事業ボランティア(しんごお兄さん)	40,000	しんごお兄さんが通常に出演した場合の利用料金による。
啓発事業ボランティア(チクたん)	15,000	キャバ総研が通常に演者を派遣した場合の利用料金による。
啓発事業ボランティア(司会者×2名)	60,000	(株)オフィスマーメイドが一般に公表している利用料金表によって算定しています。

5 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科目	財務諸表に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)受取寄付金	4,849,952	50,000